23期　短信
（2022年初頭吉日）

２３期常任幹事　畑地　豊

寅年を迎えました。
良い年になって欲しいと願うばかりですが、巷は世界中「コロナ禍」で荒れ狂っている様相で、相変わらず生活は落ち着きません。
心して乗り切りたいと思います。
年末から年始にかけて期友といくつかの交信がありましたので、この誌面をお借りしてご披露させて頂きます。

在籍当時の校舎

荒木 康久さん〈前橋市在住〉

1 昨年11月頃から「自転車/放浪の旅」を開始。住まいの前橋市をスタートして今回は九州方面を目指し西に下ります。本人は自転車の旅は何度も実践中です。何の気なしに電話を入れたところ「今静岡を通過中」ということで計画が判明したのです。「大阪を通過するとき会いたいものです」と相談しましたが、放浪の旅なので日時に制約を受けることは由としないような雰囲気で、会える確約はしてもらえませんでした。その後、私も物好きなもので本人の迷惑も考えずに電話を入れます。「只今はお伊勢さんに居る」とのこと。そうするとぼつぼつ大阪か!と、会えるかも知れないと思うと心が躍ります。

数日後に電話が有り「所定の検査入院が近づいたので、中断して自転車を預けて一旦前橋に戻る」とのこと。お伊勢さんから国道42号線を南下して尾鷲、熊野、新宮、白浜、和歌山と紀伊半島を周遊して大阪に着いたようでした。これはチャンス!日時を決めて「新大阪駅」で会うことが出来ました。さすがの彼も私のお願いに不義理をすることを由としなかった様です。

2 それから再度大阪から旅を続けることになったようです。突然彼が目にした綺麗な「姫路城」の写真が電波に乗って届きました。

21.12 旅先の荒木君から贈って頂いた“姫路城”の写真

それから再度大阪から旅を続けることになったようです。突然彼が目にした綺麗な「姫路城」の写真が電波に乗って届きました。
次にまた突然メールで連絡が入りました。
「高知県にいる。近々かなりな寒波が到来するとの予報である。寒さ対策をしていないので中断して自転車を預けて一旦前橋に戻る」とのことでした。正月は自宅でゆっくり、のんびりされたかなあと、他人事ながらなんとなくほっとした気持ちになりました。

3 年が明けて寅年1月7日、メールで連絡が入る。
「旅を続けるため再度高知に来たが、コロナが再び蔓延悪化の様相である。一旦今回の旅は中断することを選択した。自転車は運送業者に託して列車で帰宅する」 コロナが落着したころ、それはある日突然に再び彼の元気な姿が何処かの街を疾走しているかも知れない。(完)

(イメージ)

福島 次郎さん〈大阪、長野に住まいを有する御仁〉

この御仁からも昨年12月中旬に1通の写真付きの“はがき”が舞い込んだ。

拝啓、師走に入り何かと気ぜわしくなりましたが、皆様にはご健勝のことと存じ上げます。世界中で猛威を振るっている新型コロナも早く終息し、何処にも自由に行き来出来ること願うばかりです！

このたび、長男（晋一）が豊丘村（長野県下伊那郡）に「ポンシャンス・サイクルベース」をオープン致しました。
これを機に私どもも引越をいたしました。豊丘村の小高い丘にある古民家です。家の前に畑があり、隣人や知人の手助けを得て畑仕事をしております。古民家の冬は流石に厳しいですが、春には梅、花モモ、スモモなどが咲き乱れ「桃源郷」です。筍をはじめ自然の宝庫です。今は市田柿作りに挑戦しています。お近くにおいでの際はお寄りください。

今年6月オープンしました
ポンシャンス・サイクルベース

築150年になる古民家

今後は大阪、長野の二重生活から長野中心の生活に徐々に移行する模様です。長野県下伊那郡豊丘村と言いましてもピンと来なかったので、地図を開いて見ました。「JR飯田駅」に比較的近い距離関係に位置します。少し東に移動すると「JR下平駅」が有りますがここが至近なのでしょうか！
「豊丘村役場」のホームページを見てみました。やはり長野ですね『りんご』が名産のようです。同君の話ですと引っ越した早々朝から晩まで『柿の皮を剥いて干し柿つくりをしている』とのことでしたから、柿も良く育つ環境のようです。
「リニア中央新幹線」の新駅も飯田市に建設される予定になっています。
開通が待ち遠しいですね！

背景は家の前と集落から国道に出るところです。２月１０日積雪が有りました。

中井 治正さん（兵庫県猪名川町在住）

猪名川町在住とはいえ、大半が大阪市内の娘さんのお家でお孫さん相手に元気に暮らしているという方です。不肖私の娘夫婦が住んで居る町がこの中井さんお住まいと比較的至近な距離関係なのです。私も孫の顔を見たくて時々この町を訪れます。年末のある日のこと近隣を散歩していて意図的に中井さんの自宅前を通過することにしました。滅多にいない彼が自宅前で体操をしているでは有りませんか！チャンス！ 近くの「イーオンタウン」のコーヒーショップで時の経つのも忘れて雑談にふけりました。23期の「ポンコツ会」の集いを兵庫県篠山市内の「ユートピアささやま」で催行したのが2018年11月でしたから実に3年ぶりの再会でした。

畑　徳昭さん（兵庫県篠山市在住）

中井治正さんが登場したとなると、忘れてはいけないのがこのお方です。
「中井治正さんにお会いしましたよ!」と報告メールを飛ばしました。
中井さんとは職場も同じで退職後も「OB/集う会」などではちょくちょくお会いすることもあったようです。
畑さんにはこのホームページに2018年2月15日付けで登場してもらいました。 今回もメールの交信をしました。
年末に北辰会事務局から「ホームページ」へのアクセス数の状況報告がなされた。今回も直近の11月の集計でなんと5000件を突破している。数年前には2000件余りであったことと照らし合わせると、格段の延びと言っても言い過ぎでは無い。嬉しいの一言である。母校定時制課程が閉課程となって既に12年余り、今や卒業生をつなぐパイプは唯一この「ホームページ」のみと言っても過言では無い。この媒体へのアクセス数が増加の一途を辿っているとはとても嬉しいことではないか！これを運営推進下さっている事務局関係者の皆様に感謝の気持ちを表するとともに、一刻も早くこのことを皆さんにお知らせさせて頂こうと、23期のメール通信可能の皆さんに電波を飛ばしている。

兵庫県篠山市在住の畑さんから「連絡ありがとう」の応答を頂いた。

2022年 1月 22日

From: 畑地　豊（北辰会）
Sent: Saturday, January 22, 2022 7:30 PM
To: 北辰会２３期 畑　　徳昭　　様
Subject: Re: 未開封 : 北辰会HP 2021年1月～12月のアクセス解析を行いました

北辰会２３期　　畑　徳昭　　様
拝啓　本年もよろしくお願い申し上げます。
昨年末のメール配信に対して、「見たよ！」のサインがございましたので喜んで返信させて頂いております。

いつも北辰会の発展のためにご支援を頂きまして、ありがとうございます。ホームページにアクセスして下さることが、私ども事務方としては最高の喜びです。
お変わりございませんか！ 年が空けてもコロナがますます猛威を奮っています。私の住む高槻市では、3回目の接種の予約申込みの案内が参りまして、昨日申込みをしてきたところです。
（2022.01.21）
昨年暮れに猪名川町で、中井治正くんに遭遇して「イーオン店」の中にある広いスペースで「珈琲」を呑みながら、畑さんのお話やら、積もる話をたくさんして来ました。私の娘夫婦が中井さんの住まいと比較的近い位置に住んで居ます。私は孫を訪ねて時々足を延ばしています。彼も立派なお家をお持ちなのですが、殆ど大阪市内にお住いの娘さん宅で過ごすことが多いとかで、この日も偶然猪名川に立ち返っていたとのことでした。良いタイミングで遭遇したのでした。
もうすぐ春も目前かと！コロナの猛威に気を付け乍らどうぞご自愛下さい。　　おわり

2022年 1月 24日

To: 畑地　豊（北辰会）　様
Sent: Saturday, January 24.　2022
From:北辰会２３期　畑　　徳昭

畑地　豊　様
畑です。此方こそ本年も宜しくお願い致します。
北辰会で色々お世話して頂いている事に敬意を表しています。
私も今年で78才になり自分でもビックリしていますがまだ元気に農作業が出来ており健康には感謝しております。
今世間ではコロナ一色で何か心が晴れませんが、今年も頑張って行こうと思っております。
畑地さんも健康に気を付けこれからの活躍を願っています。

畑さん

黒豆写真出典元：丹波篠山市観光情報ページ

23期の友が年末12月に彼の地／十三に集結する。

有元喜美代さん（旧姓：武田　）、　吉田雅江さん（旧姓：又川）
金城奉周さん、　畑地　豊（筆者）　（いずれも大阪、神戸に在住）

昨年8月に有元喜美代さんから突然57年ぶりに現住所のお知らせが入った。ご高尚、母校が2009年に閉課程となった今日、卒業生会員の増加は望むべくも無く、どちらかと言うと自然減少を余儀なくされる。ここに来ての増員は“大歓迎”である。まさに“金の卵”と言っても過言では無い。

23期幹事として「Welcome」の連絡をさせて頂いた。有元さんもとても喜んで下さって「とにもかくにも早く再会したいものである」と希望を頂いたが、時まさに ーコロナ下剋上ー「はいそうですか」と容易に思う様にカジ取り出来ない。何回か電話で北辰会のことや23期のみんなのことなど可能な限りの情報交換を実行して来た。

11月末頃、世の中少し落ち着きを見せ始めたことを好機として尚且つ『細心で最大の注意を払うこと』を申し合わせ、50年ぶりの再会を、そしてその場所を「十三」と選んで、果たしたのでした。

4人全員年を感じさせないほど「ぴんぴんしゃんしゃん？超元気」そのものでした。

関東地区からもお便りが届きました。

2022年 1月 17日　To: 畑地　豊（北辰会）様　From: 小出　優和

小出 優和さん（茨城県鹿嶋市在住）

北辰会23期の畑地幹事殿

寒中お見舞い申し上げます。早々のご挨拶を頂き、恐悦至極に存じ申し上げます。

世の中情報過多に、食傷気味で油断していると、今回のような事態に、世の中には、コロナ禍にあって自宅にこもり、もくもくと過ごす人、人里離れて里山、諸公園、海岸線、度胸のある人は旅行に、私も11月は1週間弱故郷を旅しました。びっくりしたのは、飛行機の満席、往復、帰路では、キャンセル待ちのアナウンス嬢のキャンセルはありませんの一斉放送（広島空港にて）。

日本人には、従順人種が多く、その中に会って、旅行業者が2組、20から25人グループで広島観光か！ガイドさんの説明に聞き入っている姿もオールマスクに、なるほど、人を見るより今が絶好の行楽日と詠む人にきっと“広島モミジ”が歓迎してくれたことと。

顧みるに、「ポンコツ会」のキーマン山本悦郎さんが昨年亡くなって、おんぶにだっこで大変申し訳ないと。

貴殿の宛先メンバーを見るにつけ、二、三人の方以外は55年以前の過去が鮮明に思い出されるのはなぜでしょう。悲しいことに、直近の物忘れにあきれながら、20年前までは、前進あるのみに燃えた時代もあったに。今は、落穂拾いの人生路ながら、生きてる証を示したいと模索進行中。老いにはまだ早い、当面の目標は「大阪万博」23期の皆さんにお会いできる可能性も信じて。酔っぱらって脳の潤滑が効くと思うがままで長引きました。 皆様に元気でやってるよとお伝えください。東京の大山さんと、コロナが収まったら、荒木（山根）康久さんに会いに行こうと年賀を交わしました。彼は5日以降また四国から自転車旅行の気まま旅と思います。千葉に立ち入るときは声かけてくれるかな！とお願いしましたが。　以上　またね!!　小出

（編者注：句読点以外は原文のまま）

大阪府千早赤阪村/すいせんの丘
（2022年2月6日撮影）

写真提供 26期 途上人 梅谷 武 さん